

項番	特殊な使用方法のコード	設定先	内 容
20	(検選) (リハ選) (精選)	コメント	「厚生労働大臣の定める評価療養及び選定療養」第2条第6号に規定する「制限回数を超えて行う診療」に係る検査、リハビリテーション及び精神科専門療法を実施した場合、レセプトに記録するコードである。
21	公害補償法控除後包括点数	医科・歯科診療行為	後期高齢者医療確保法又は健康保険法と公害補償法に基づく療養の給付の調整において、特定入院料等の包括点数から保険請求できない項目の所定点数を差し引いた減点後の点数を記録するためのコードである。その内訳はコメントコード等で記録する。
22	包括点数の公害補償法減点分	医科・歯科診療行為	後期高齢者医療確保法又は健康保険法と公害補償法に基づく療養の給付の調整において、特定入院料等の包括対象診療行為コードを記録した後、保険請求できない診療行為等について1か月分の総点数を減点するために記録するコード。その内訳はコメントコード等で記録する。
23	同一部位同時画像診断	歯科診療行為	同一部位同時撮影を行った場合、1枚目の診断、撮影の点数を減点するために記録する通則加算コードである。
24	単純撮影(その他の場合)による全顎撮影	歯科診療行為	単純撮影(その他の場合)により上下顎の全顎撮影を行った場合、1、2枚目を所定点数、3、4枚目を50/100の点数で算定するために記録する通則加算コードである。
25	画像診断を包括する診療行為による2枚以上の画像診断	歯科診療行為	手術前医学管理料等、画像診断を包括する診療行為を算定する患者に対して画像診断を複数枚行った場合、1枚目の撮影・診断の点数が当該診療行為に含まれるため、1枚目の点数を減点するために記録する通則加算コードである。

#### (4) マスターファイルの形式

ア 項目間の区切り文字は「,」(カンマ)とする。

イ 各項目の値については、モード(数字、英数、漢字)に関わらず引用符「"」(ダブルクォート)を前後に付すものとする。

ウ 最大バイトは引用符「"」を除いたバイト数とする。また、小数部がある項目については、小数点及び小数以下の数字も含むものとする。

エ 0バイトの文字列(Null)の場合は、引用符「"」(ダブルクォート)を続けて記録するものとする。

~~オ モード及び項目形式とマスターファイルに設定する項目については以下のとおり。~~

モード	項目形式	最大バイトに達しない場合	値なしの場合	備考
数字	固定	<del>左位の桁に0を最大バイトまで埋め込む</del>	<del>最大バイトまで0を埋め込む</del>	<del>例: 最大バイト: 3 値: 2 "002"、値: なし "000"</del>
小数部なし	可変	<del>有効な数字のみ</del>	<del>0バイトの文字列(Null)又は0</del>	<del>例: 最大バイト: 3 値: 2 "2" 値: なし ""又は"0"</del>

モード	項目形式	最大バイトに達しない場合	値なしの場合	備考
数字 小数部あり	固定	<del>整数部及び小数部に0を最大バイトまで埋め込む</del>	<del>最大バイトまで0を埋め込む</del>	例：最大バイト：6、整数部：3桁、小数部：2桁 値： <del>2 "002.00"</del> 値： <del>2.1 "002.10"</del> 値： <del>なし "000.00"</del>
	可変	<del>整数部は有効な数字のみ 小数部は有効な数字がない場合を含め小数点及び小数以下の桁数まで0を埋め込む</del>	<del>0.00..... —整数部は0、小数以下は定義された桁数まで0を埋め込む</del>	例：最大バイト：6、整数部：3桁、小数部：2桁 値： <del>2 "2.00"</del> 値： <del>2.1 "2.10"</del> 値： <del>なし "0.00"</del>
英数	固定	<del>有効な文字の後続に半角スペースを最大バイトまで埋め込む 又は 有効な数字の上位の桁に0を最大バイトまで埋め込む</del>	<del>最大バイトまで半角スペース又は0を埋め込む</del>	例：最大バイト：2 値： <del>2 "02"</del> 値： <del>A "A "</del> —「A」の後続に1文字分の半角スペース 値： <del>なし "" "又は"00"</del>
	可変	<del>有効な英数文字のみ</del>	<del>0バイトの文字列 (Null) 又は0</del>	例：最大バイト：2 値： <del>2 "2"</del> 値： <del>A "A"</del> 値： <del>なし "" "又は"0"</del>
英数 カナ	固定	<del>有効な文字の後続に半角スペースを最大バイトまで埋め込む</del>	<del>最大バイトまで半角スペースを埋め込む</del>	例：最大バイト：10 値： <del>ヨシヨシ "ヨシヨシ————"</del> —「ヨシヨシ」の後続に6文字分の半角スペース 値： <del>なし ""————"</del> —10文字分の半角スペース
	可変	<del>有効な文字のみ</del>	<del>0バイトの文字列 (Null)</del>	例：最大バイト：10 値： <del>ヨシヨシ "ヨシヨシ"</del> 値： <del>なし ""</del>
漢字	固定	<del>有効な文字の後続に全角スペースを最大バイトまで埋め込む</del>	<del>最大バイトまで全角スペースを埋め込む</del>	例：最大バイト：10 値： <del>初診 "初診————"</del> —「初診」の後続に3文字分の全角スペース 値： <del>なし ""————"</del> —5文字分の全角スペース
	可変	<del>有効な全角文字のみ</del>	<del>0バイトの文字列 (Null)</del>	例：最大バイト：10 値： <del>初診 "初診"</del> 値： <del>なし ""</del>